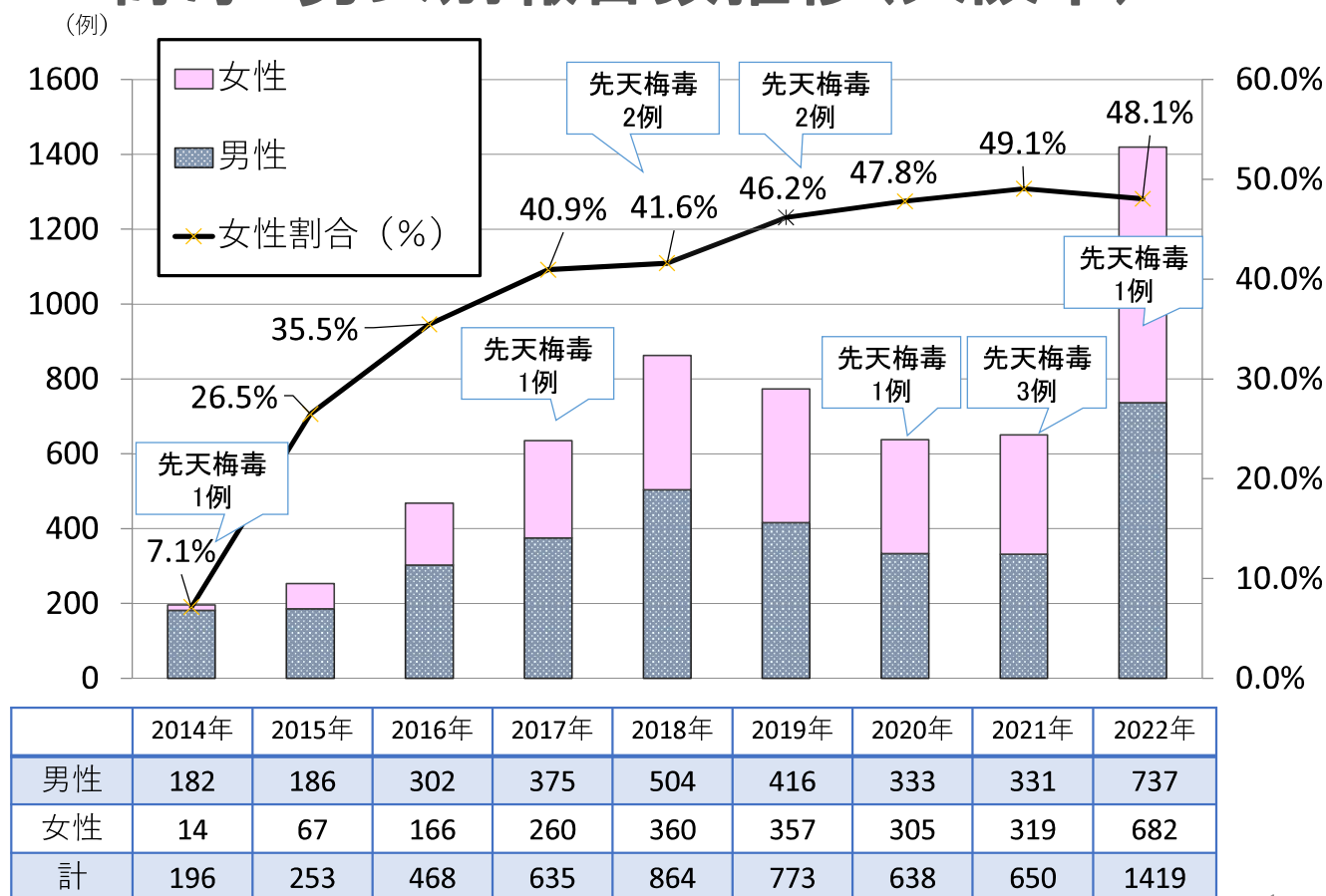
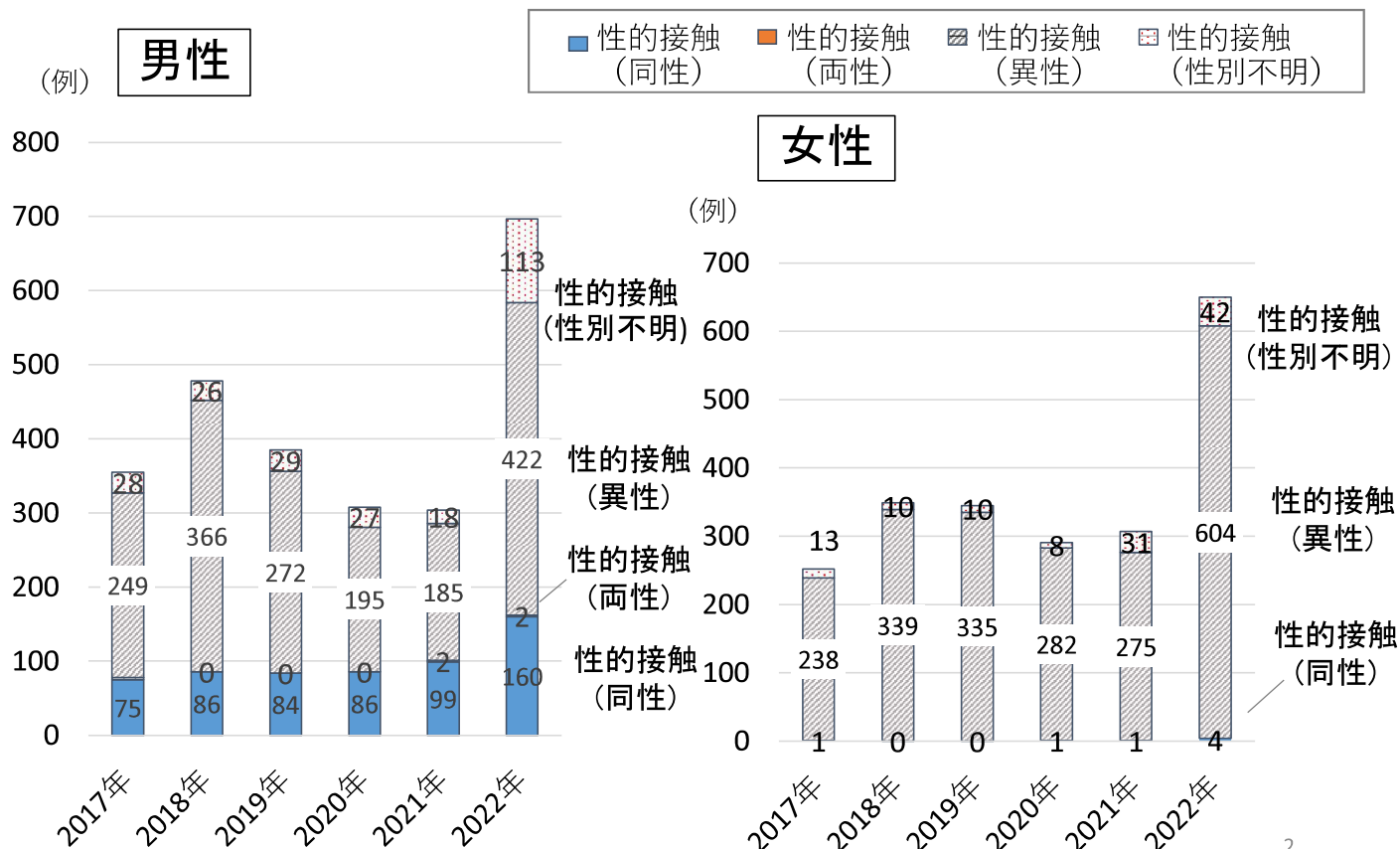


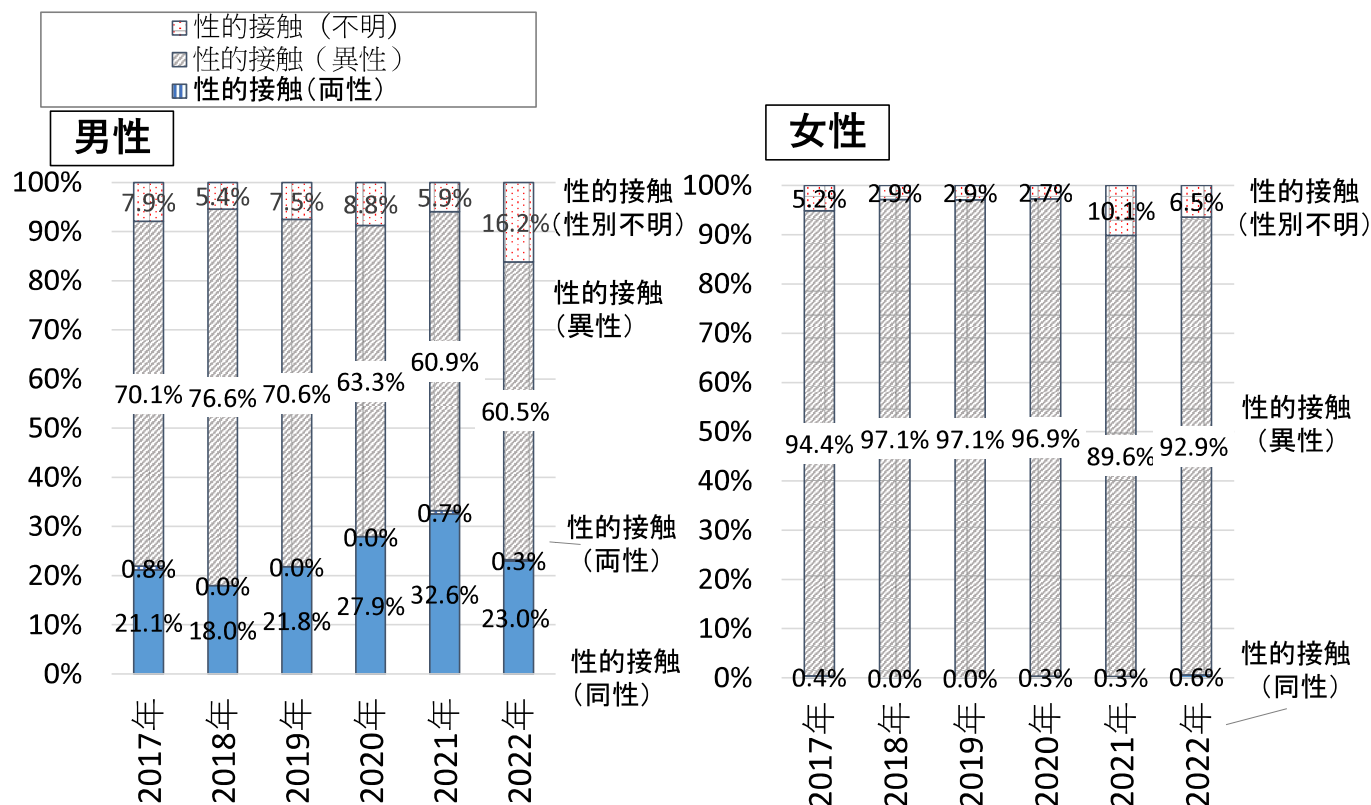
梅毒 男女別報告数推移(大阪市)



感染経路別届出数(性的接触のみ)



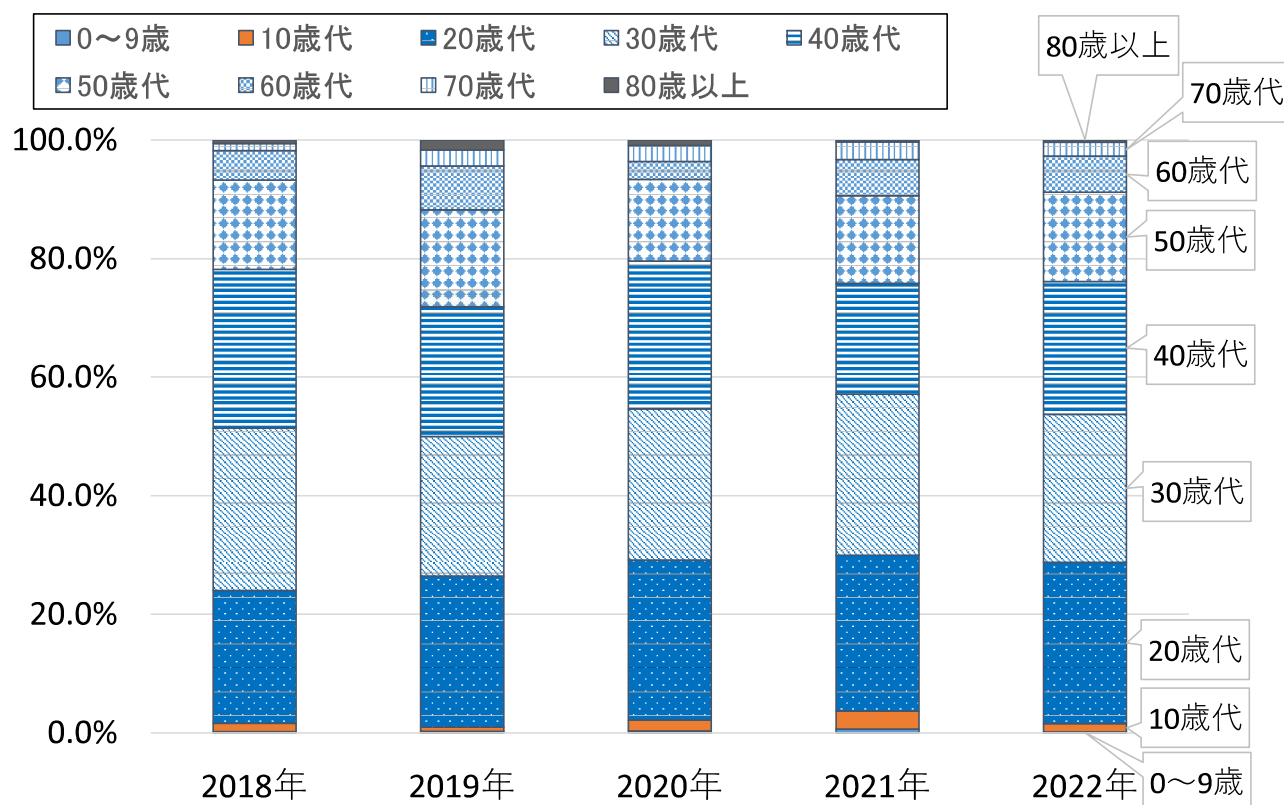
感染経路別届出割合推移(性的接触のみ)



男性同性間性的接触の割合は横ばい

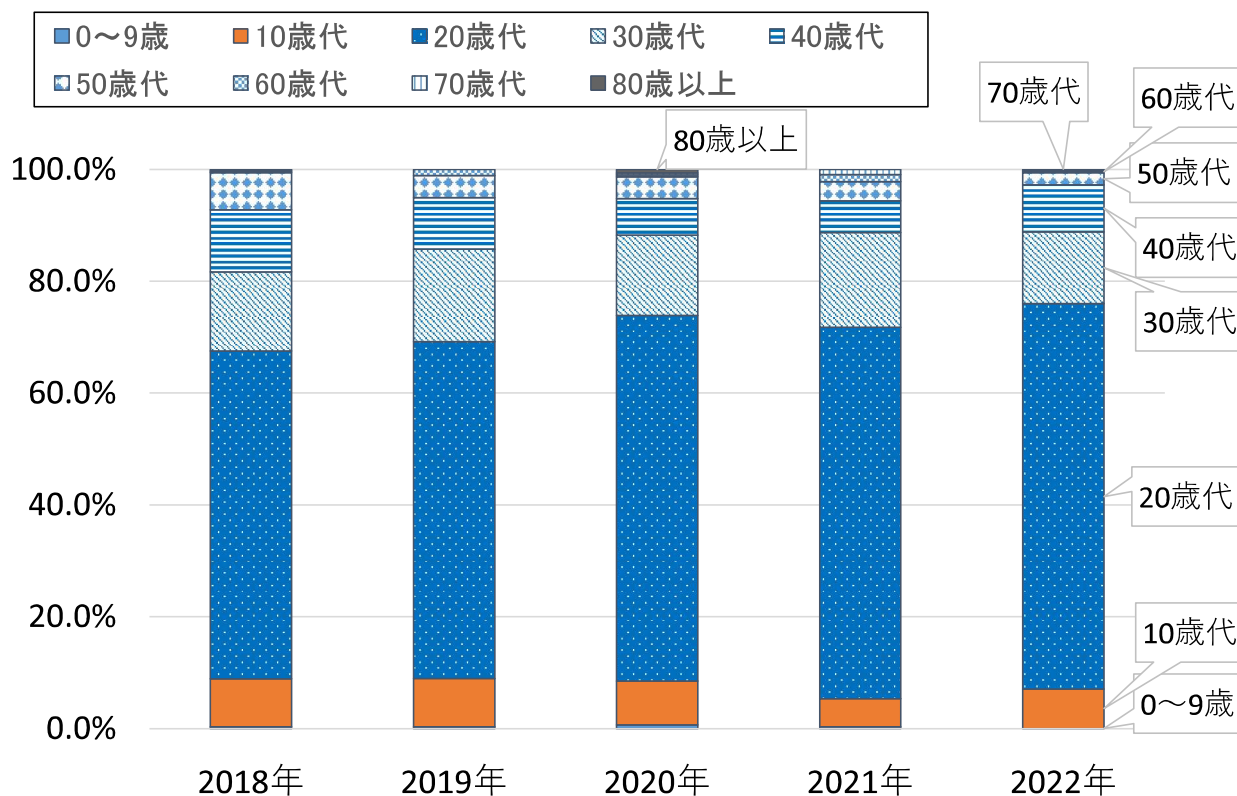
3

年代別届出数の割合推移(男性)



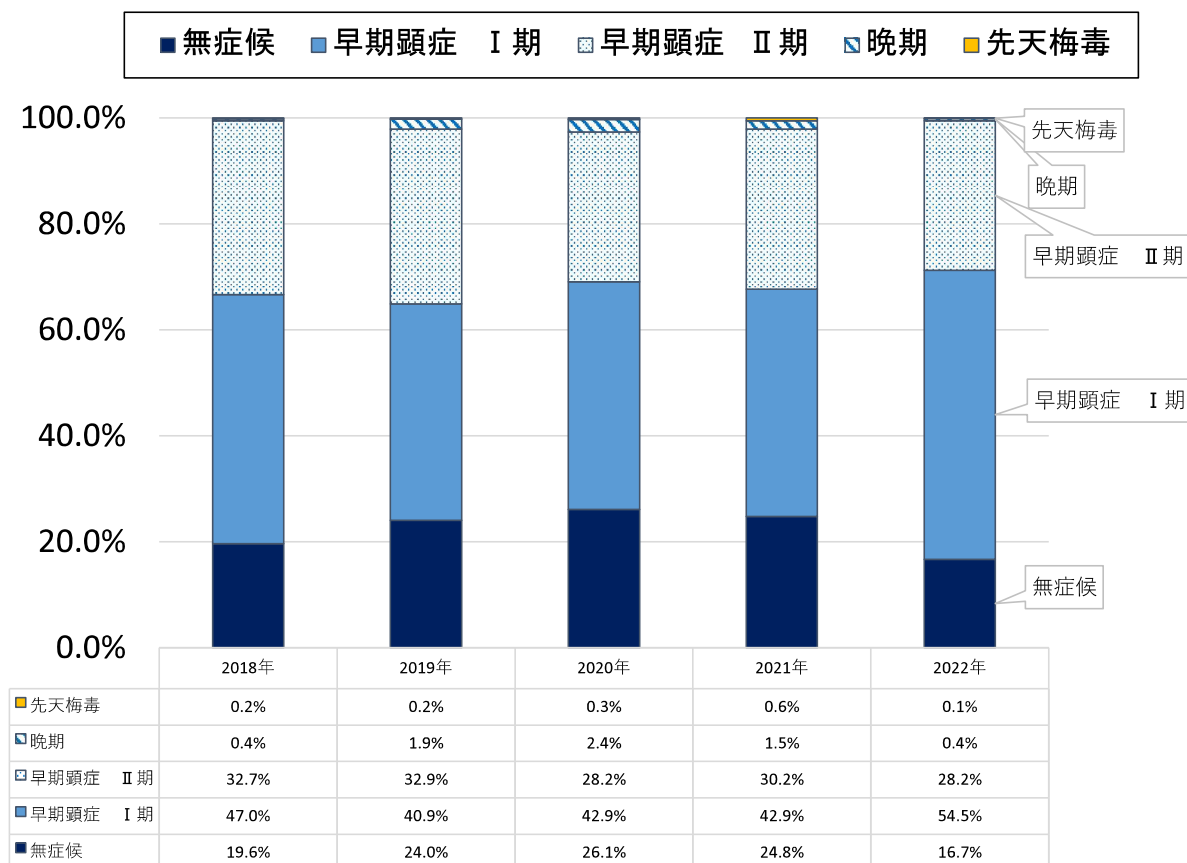
4

年代別届出数の割合推移(女性)



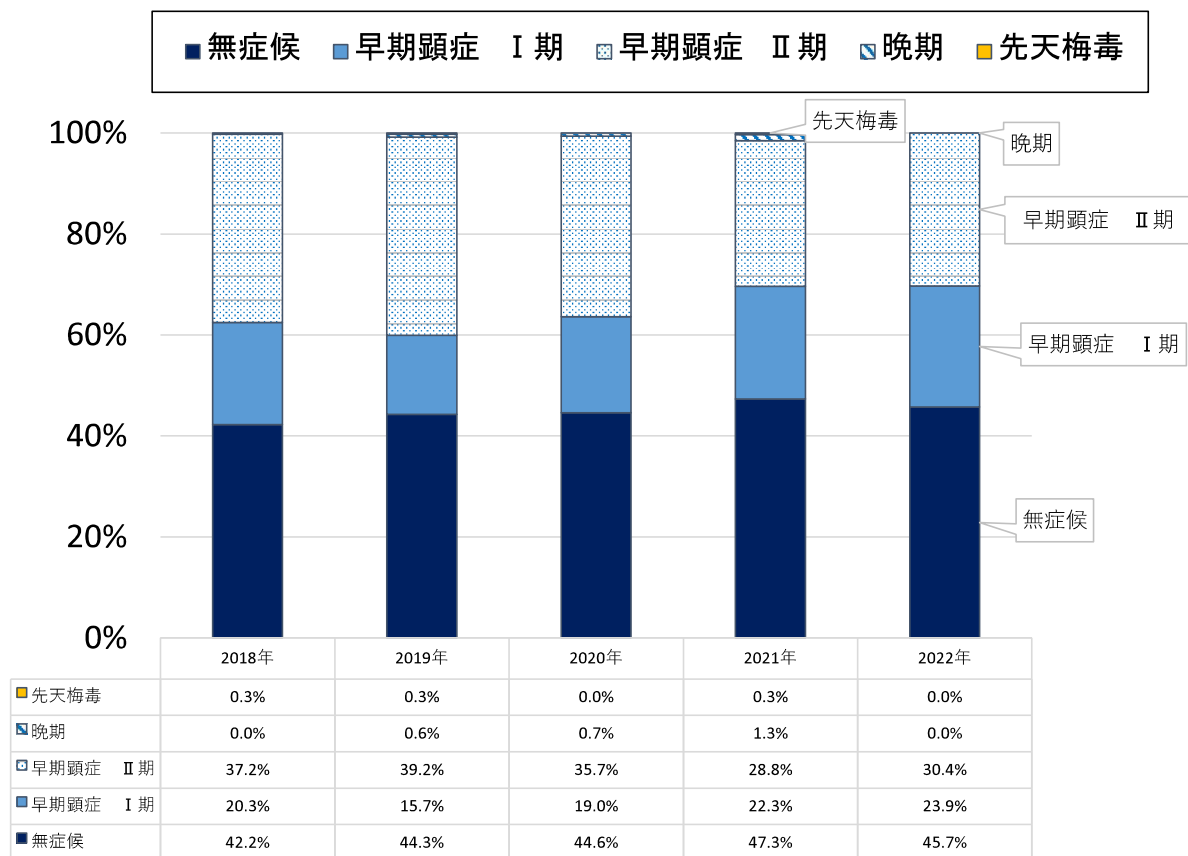
5

病期別届出数の割合推移(男性)



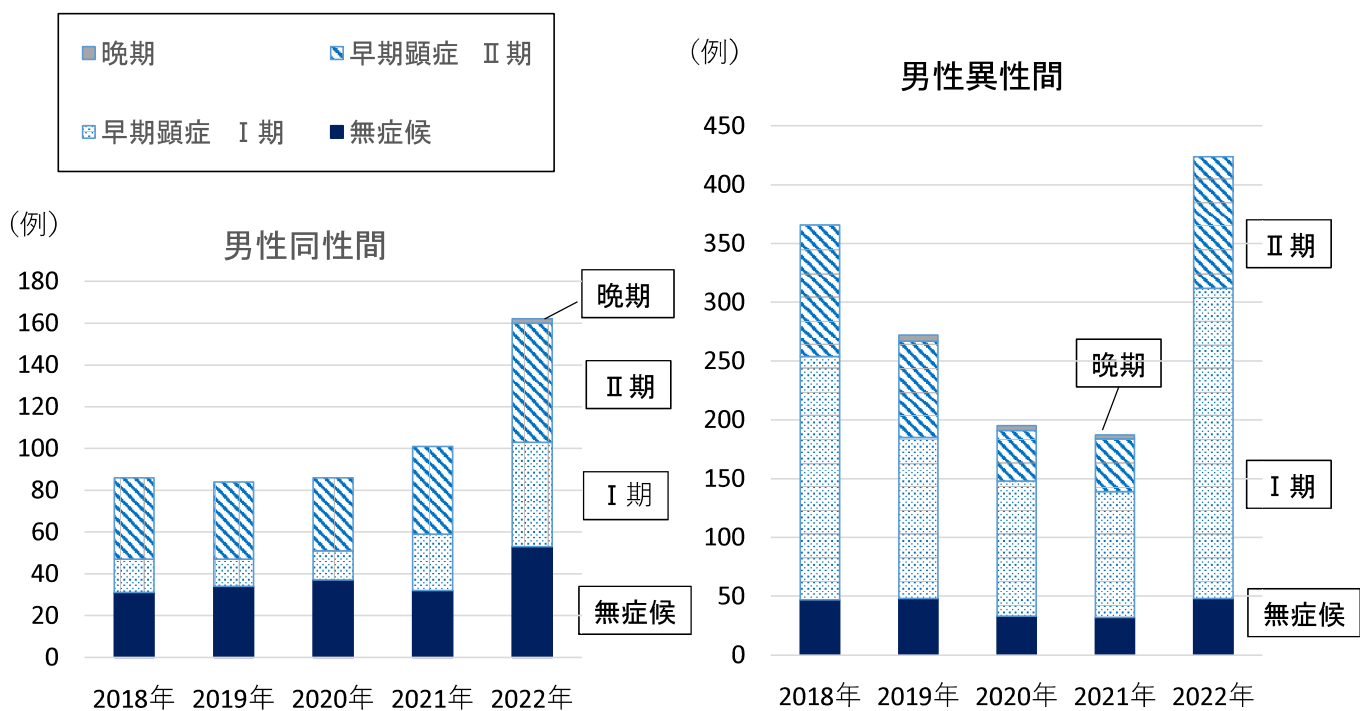
6

病期別届出数の割合推移(女性)



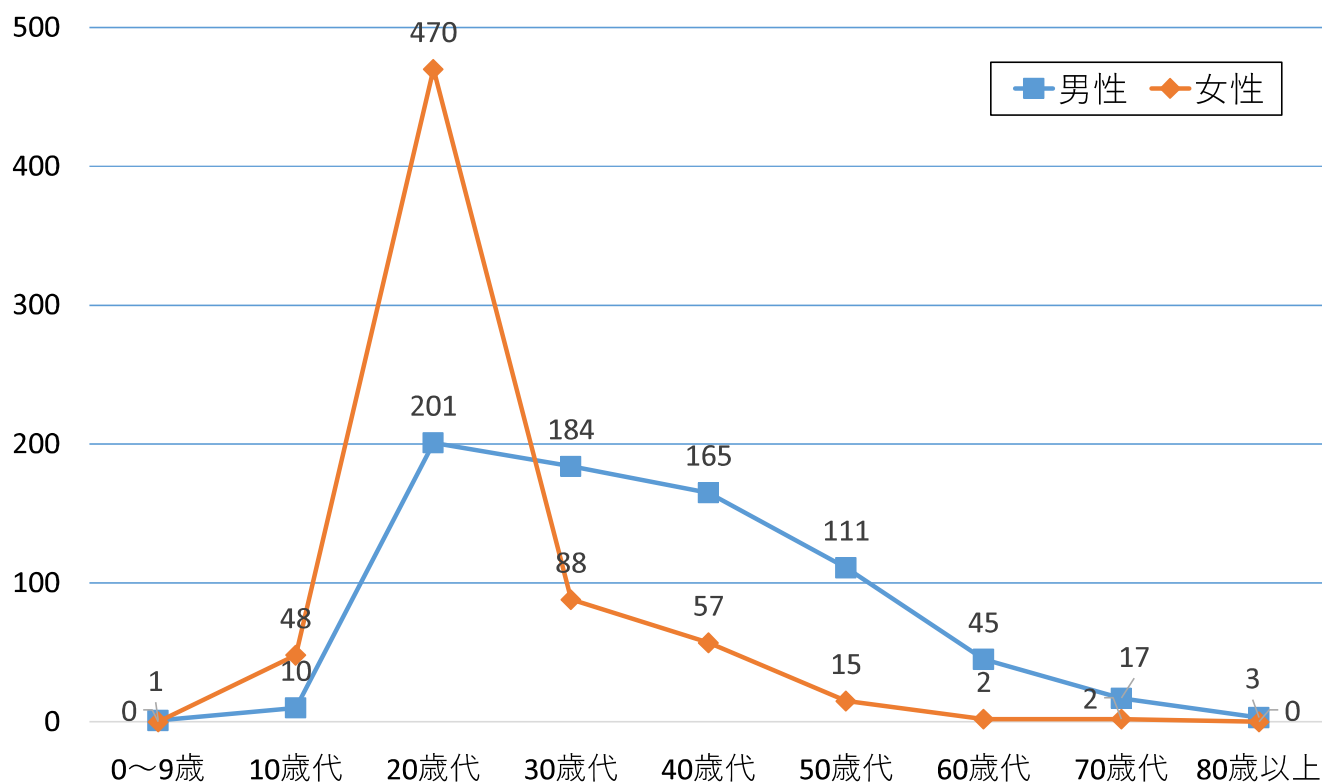
7

感染経路別病期の推移(男性)



8

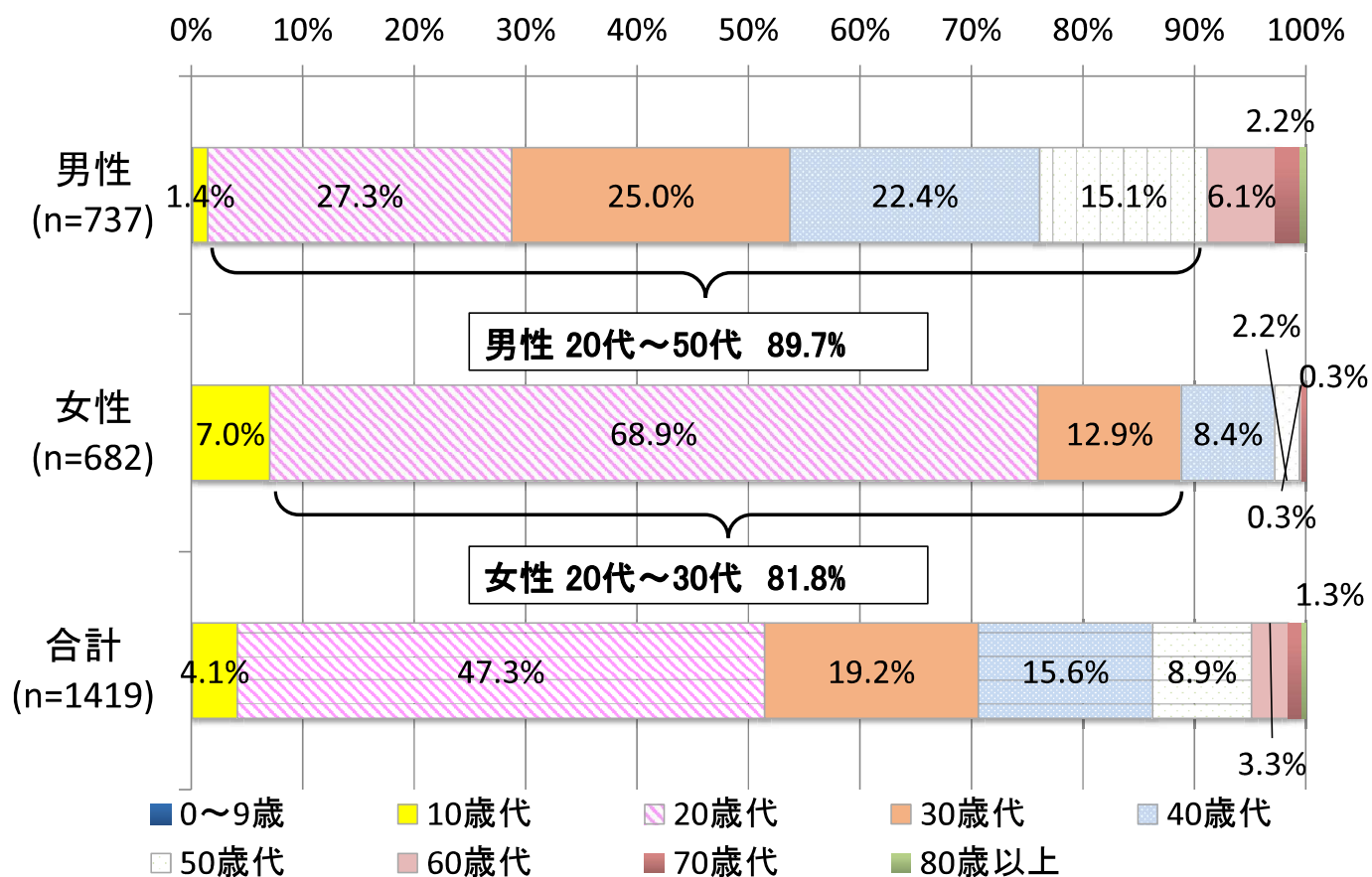
2022年 梅毒 男女別年齢別報告



(n=1419)

9

2022年 梅毒 男女別年代別割合



2022年発生届出数上位医療機関

【男性】

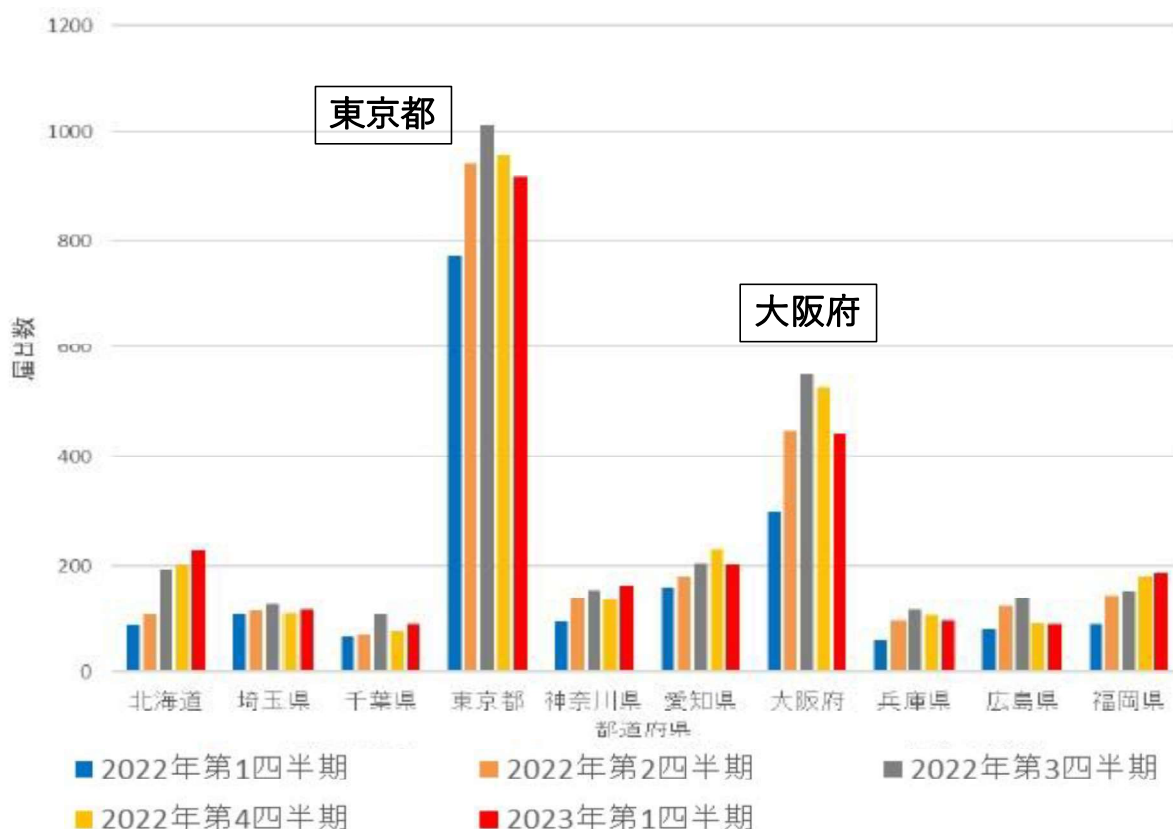
診療科	区	届出数
診療所A 泌尿器科	北区	119
診療所B 泌尿器科	中央区	55
診療所C 泌尿器科	都島区	54
診療所D 皮膚科・性感染症皮膚科	北区	38
診療所E ー	都島区	36
診療所F 腎泌尿器科	西区	35
病院a ー	中央区	34
診療所G 泌尿器科	東成区	35
診療所H 婦人科・内科	中央区	26
診療所I 総合診療科	北区	22

【女性】

診療科	区	届出数
診療所H 婦人科・内科	中央区	168
診療所J 婦人科・内科	中央区	129
診療所K 婦人科	北区	88
診療所L 婦人科	中央区	48
診療所M 婦人科	中央区	18
診療所D 皮膚科・性感染症皮膚科	北区	12
診療所N 婦人科	中央区	10
診療所O 婦人科	北区	10
診療所A 泌尿器科	北区	7
診療所I 総合診療科	北区	7

11

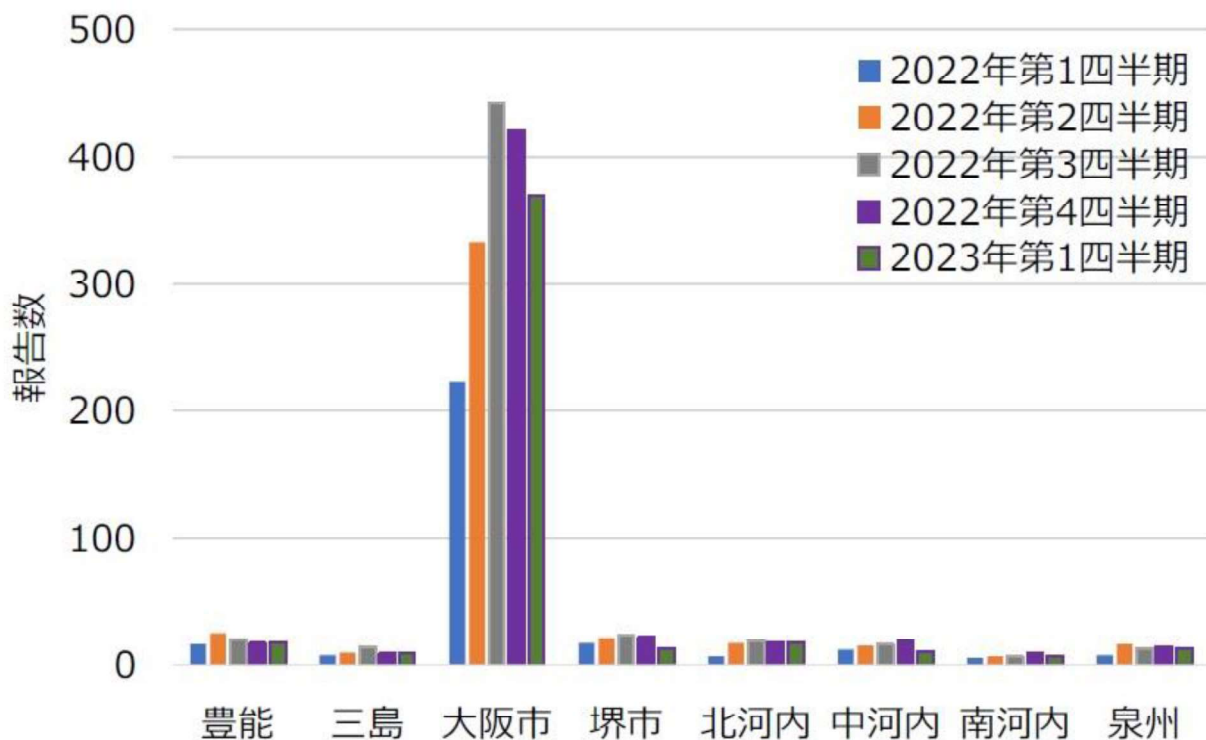
都道府県別届出数(届出数上位10位を抜粋) 2022年第1四半期から2023年第1四半期



日本の梅毒症例の動向について(国立感染症研究所HP)

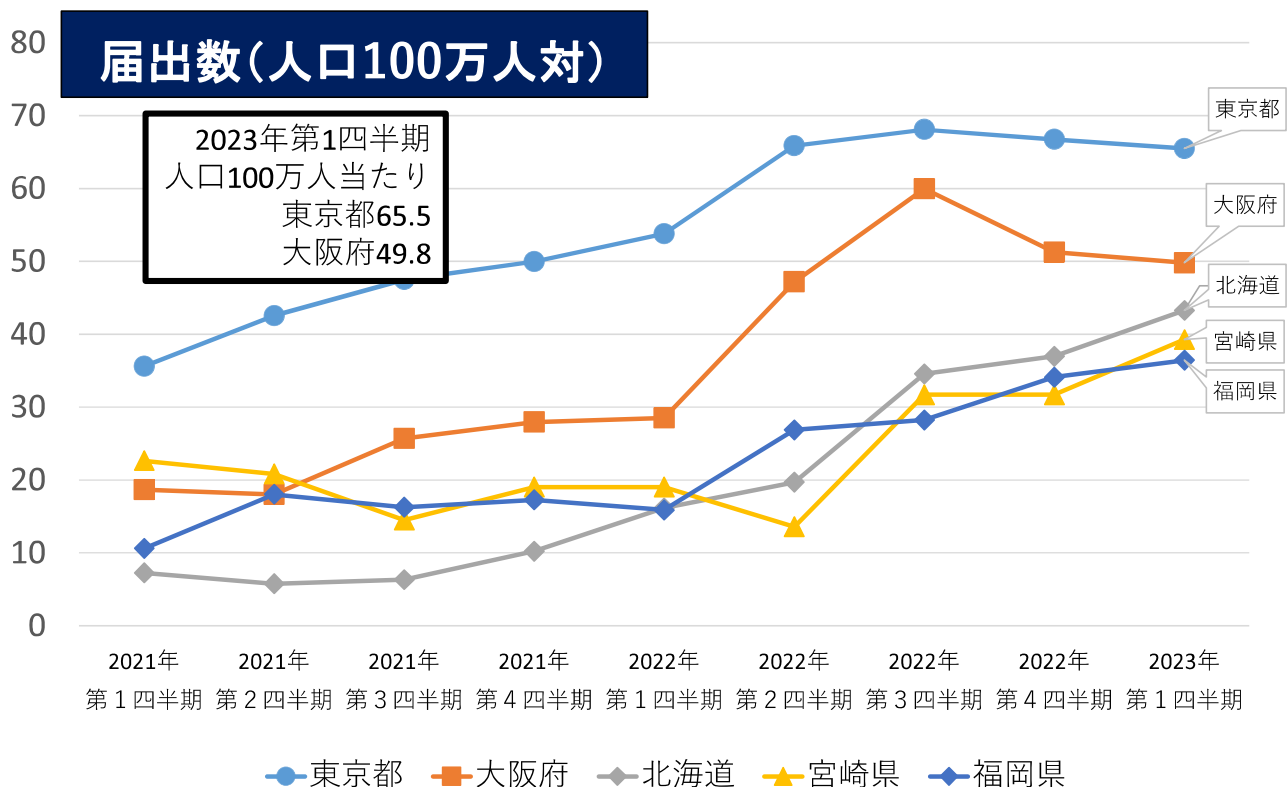
12

大阪府内発生状況 2022年第1四半期から2023年第1四半期



梅毒届出状況(大阪府感染症情報センター HP) 13

梅毒発生届出数の推移 (2023年第1四半期上位5都道府県を抜粋)



梅毒発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第6項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出ます。

報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名 _____
 設置する病院・診療所の名称 _____
 上記病院・診療所の所在地(※) _____
 電話番号(※) _____
 (※病院・診療所に従事していない医師にあつては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検査）した者（死体）の類型		1-1 感染原因・感染経路（確定・推定）	
・患者（確定例） ・無症状病原体保有者 ・感染症死亡者の死体		1 性的接触 (A. 性交 B. 経口) (7. 同性内イ. 異性内ウ. 不明) (性風俗産業の従事歴(直近6か月以内)) 1) 有 2) 無 3) 不明	
2 性別	3 診断時の年齢(0歳は月齢)	2 数注薬物使用	
男 ・ 女	歳 (月)	3 母子感染(ア. 胎内・出産時 イ. 母乳)	
4 病型		4 輸血・血液製剤 (輸血・血液製剤の種類・使用年月・状況)	
① 早期梅毒(性器、肛門、口腔、その他) ② 二期梅毒(性器、肛門、口腔、その他) ③ 先天梅毒、④ 無症候(無症状病原体保有者) ⑤ HIV感染症合併の有無 1) 有 2) 無 3) 不明		5 その他 () 6 不明	
5 診断方法		② 感染地域(確定・推定)	
① 患者(確定例)の場合 ・病変からの病原体の検出(染色法、PCR検査) ・次の1)、2)の両方の抗体検査による血清抗体の検出 1) カルジオリビンに抗原とする検査 2) T. pallidumに抗原とする検査 ② 無症候病原体保有者の場合 ・次の1)、2)の両方の抗体検査による血清抗体の検出 1) カルジオリビンに抗原とする検査 (抗体価を記載、16倍相当以上が必要) 結果: () 倍、R.U.、U又はS.U/ml 2) T. pallidumに抗原とする検査 ・その他の検査方法 () 検体 () 結果 ()		1 日本国内 (都道府県 市区町村) 2 国外 (国名:) 詳細地域:) 3 不明	
6 初診年月日 令和 年 月 日		③ 過去の治療歴 1) 1年以内 2) 1年以上 3) なし 4) 不明	
7 診断(検査)(※) 年月日 令和 年 月 日		1-2 感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために必要な事項として厚生労働大臣が定める事項	
8 感染したと推定される年月日 令和 年 月 日		・妊娠の有無 1) 有 (週) 2) 無 3) 不明	
9 発病年月日(※) 令和 年 月 日			
10 死亡年月日(※) 令和 年 月 日			

(1、2、4、5、11、12欄は該当する番号等を○で囲み、3、6から10欄は年齢、年月日を記入すること。

(※) 欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。

(※) 欄は、患者(確定例)を診断した場合のみ記入すること。

4、5欄は、該当するものすべてを記載すること。

2019.1.1～

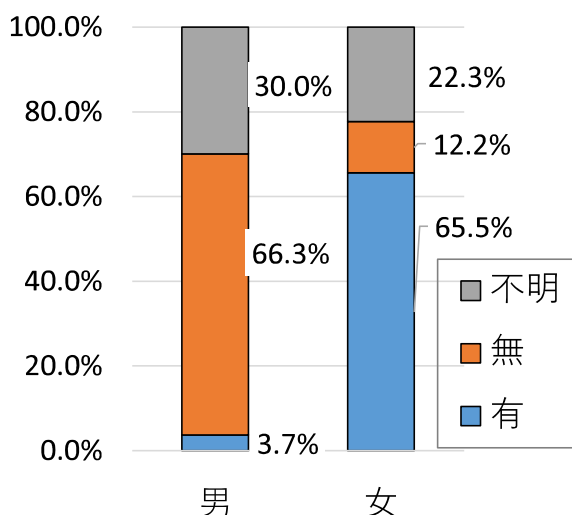
梅毒発生届様式変更（項目追加）

- ・ HIV感染症合併の有無
- ・ 性風俗産業従事歴・利用歴
- ・ 過去の治療歴
- ・ 妊娠の有無
- ・ 症状項目「口腔咽頭病変」追加
- ・ 診断方法「PCR検査」追加

【性風俗産業】(直近6ヶ月以内の従事歴・利用歴)

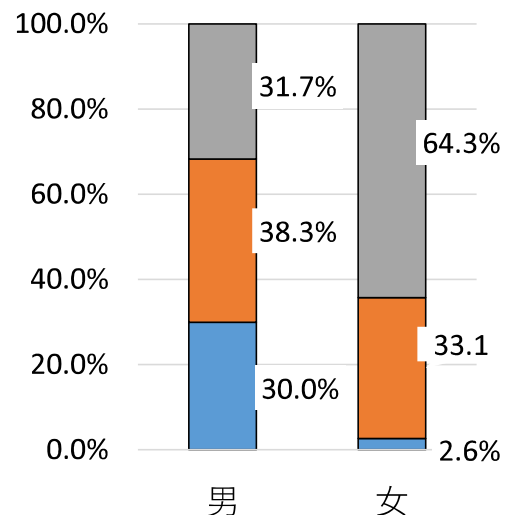
2022年

従事歴



「従事歴あり」は女性の65.5%

利用歴

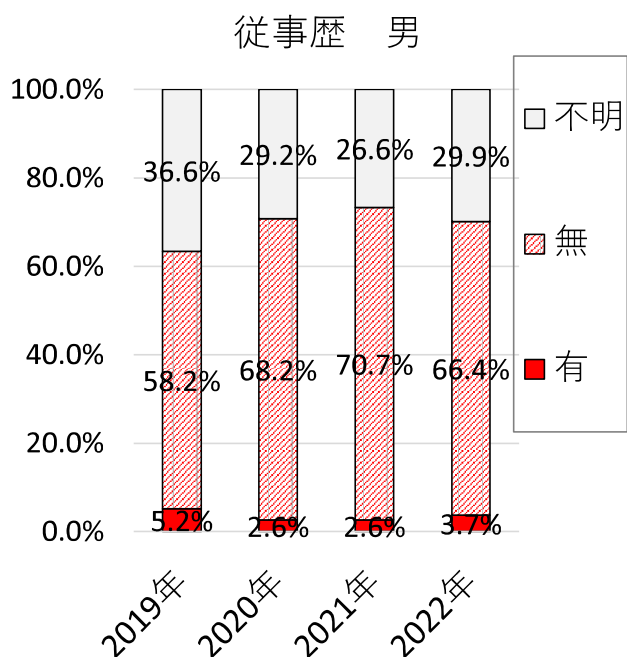


「利用歴あり」は男性の30.0%

従事歴 (届出数)	有	無	不明
男	26	462	209
女	426	79	145

利用歴 (届出数)	有	無	不明
男	209	267	221
女	17	215	418

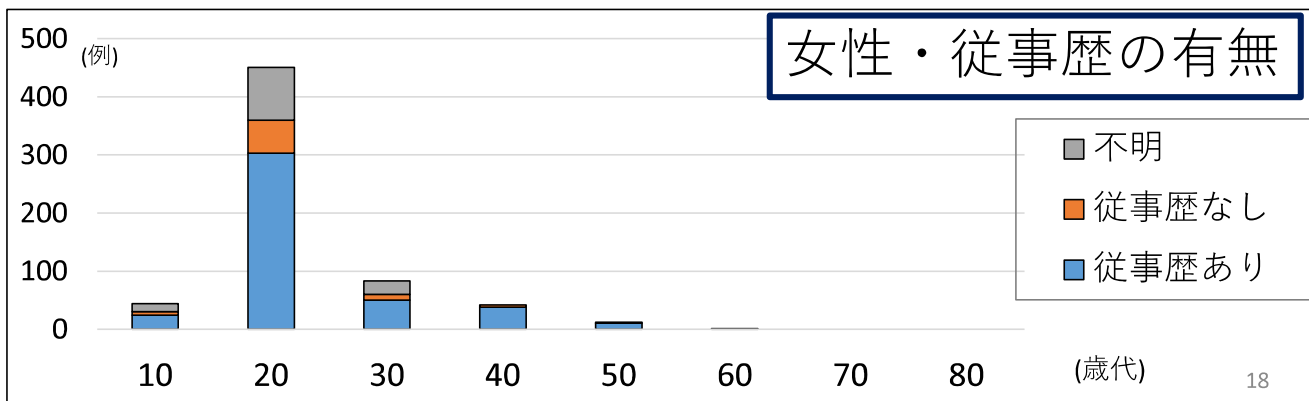
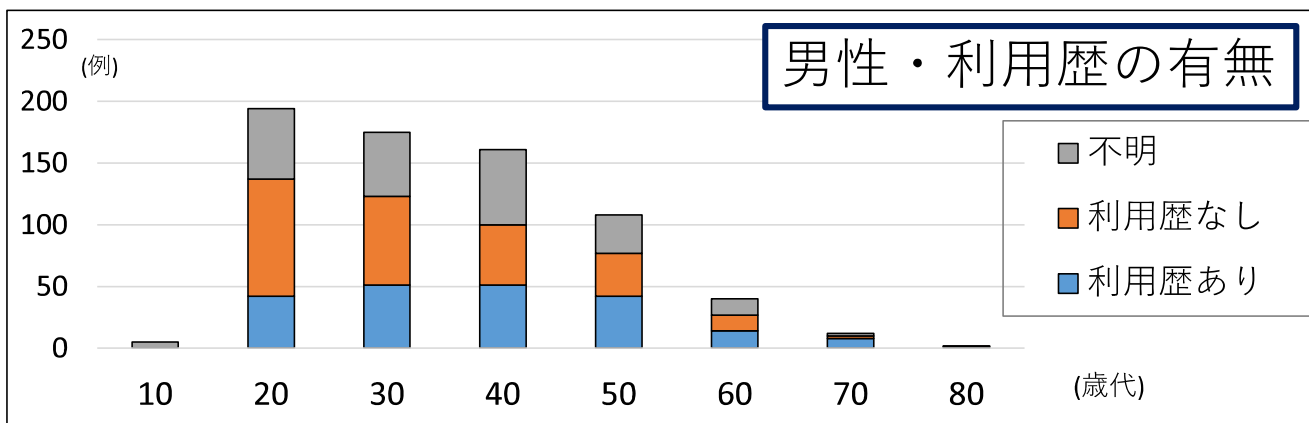
【性風俗産業】(直近6ヶ月以内の従事歴・利用歴) 男女別報告数推移



女性のうち「従事歴あり」は増加傾向

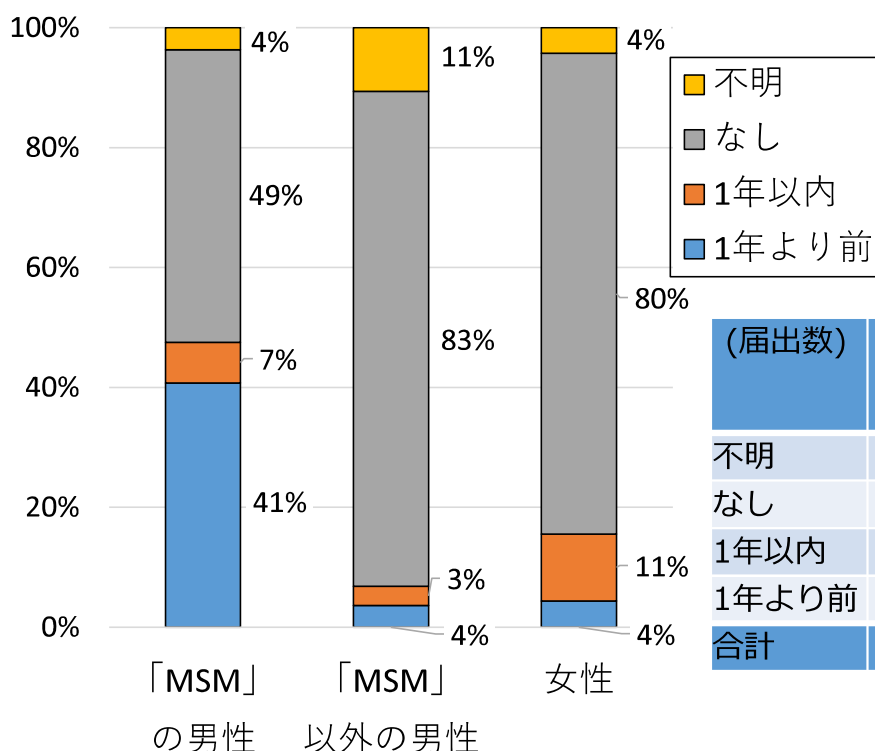
【性風俗産業】(直近6ヶ月以内の利用歴・従事歴) 男性・利用歴と女性・従事歴 年齢階級別比較

2022年



過去の梅毒治療歴

2022年



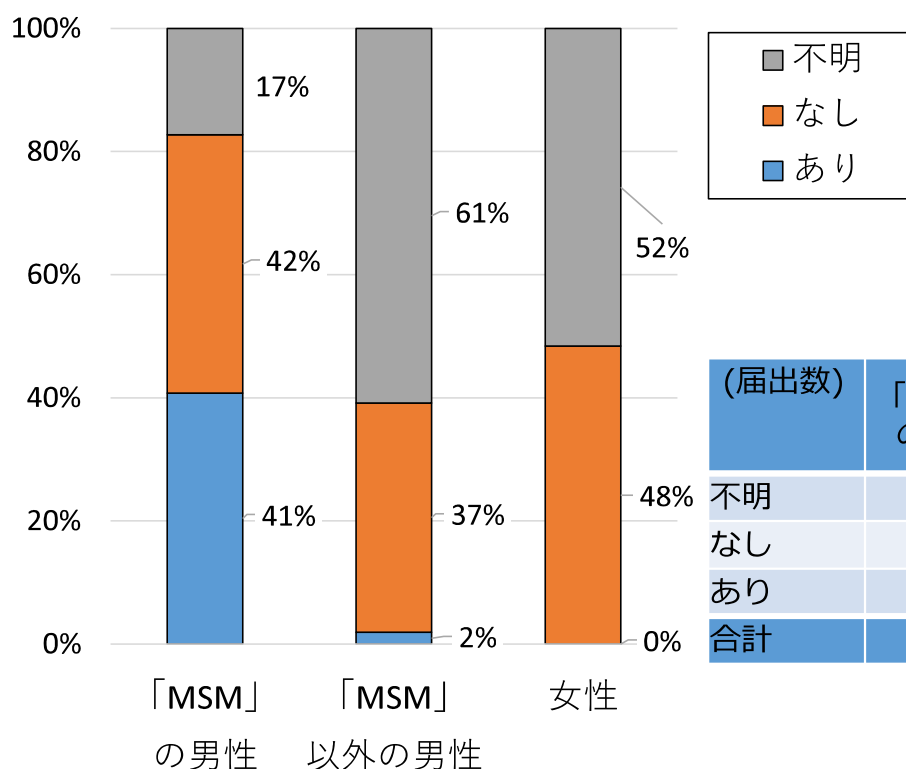
(届出数)	「MSM」の男性	「MSM」以外の男性	女性
不明	6	61	29
なし	79	475	547
1年以内	11	18	76
1年より前	66	21	30
合計	162	575	682

※MSM：感染原因・感染経路において男性同性間の性的接触のもの

19

HIV感染症合併

2022年



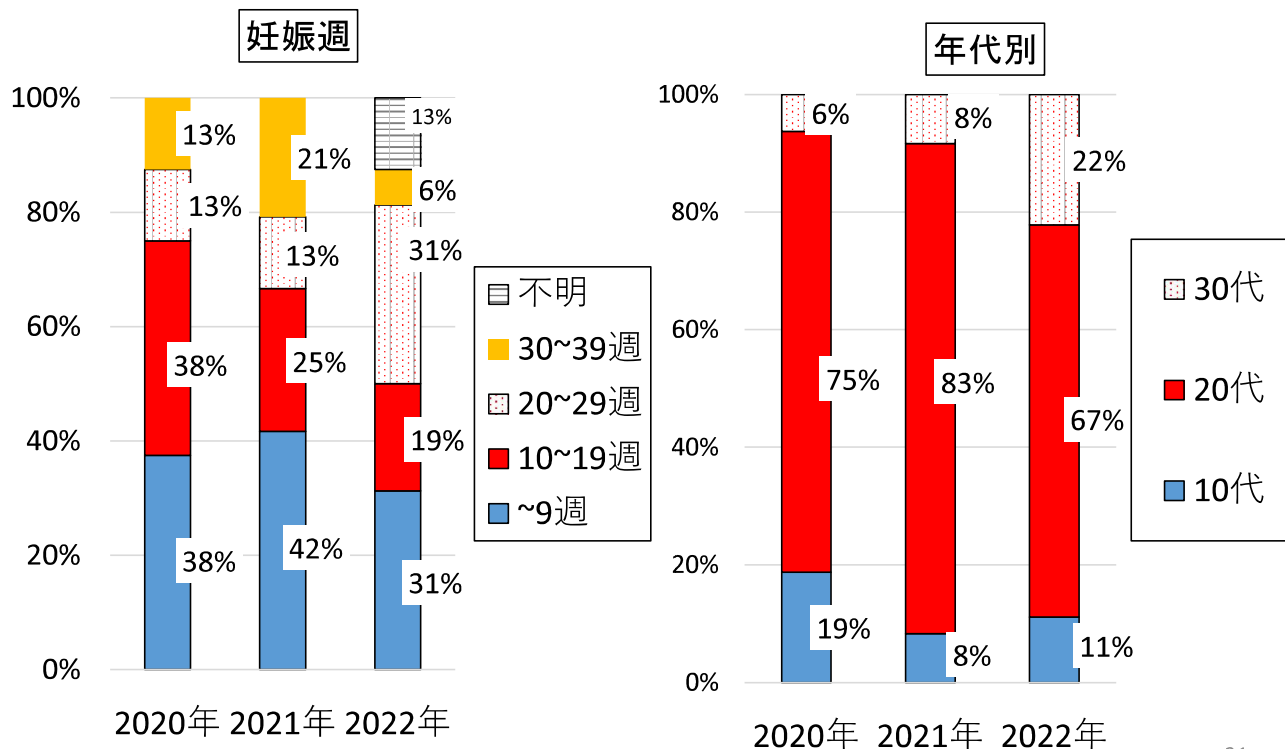
(届出数)	「MSM」の男性	「MSM」以外の男性	女性
不明	28	350	352
なし	68	214	330
あり	66	11	0
合計	162	575	682

※MSM：感染原因・感染経路において男性同性間の性的接触のもの

20

妊娠「有」

2022年	有	無	不明
従事歴（感染経路:性的接触）	2	5	4
過去の梅毒治療歴	3	12	1
H I V 合併	0	10	6



21

大阪市における先天梅毒報告 (2020~2023年第39週まで)

【先天梅毒（児）】

届出年	2020	2021①	2021②	2021③	2022	2023
性別	男	男	男	女	男	男
診断時症状	呼吸困難	四肢末端の水疱	四肢末端の水疱、腹部膨満	発疹、手掌、足裏の梅毒性水疱、血小板減少	なし	肝脾腫、表皮剝離、血小板減少

【母親】

年齢	30代	20代	10代	20代	20代	20代
梅毒病型	無症候	無症候	I 期梅毒	無症候	無症候	無症候
診断時期	6~9週	32週	25週	31週	出産後	30週
性風俗産業従事歴	なし	あり	あり	あり	なし	なし

22